

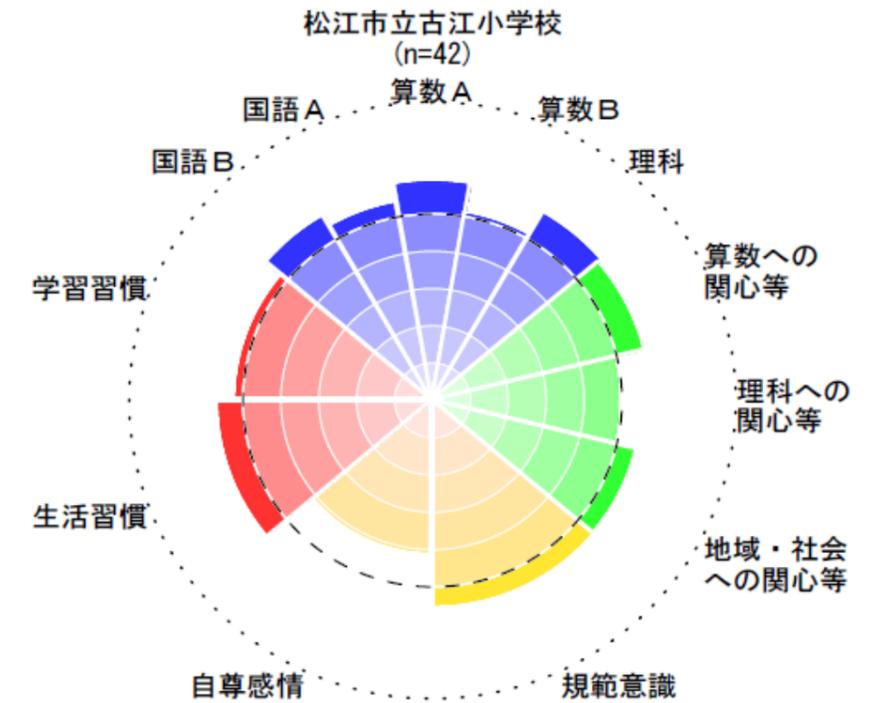
# 平成30年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立古江小学校）

平成30年9月25日

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
国語	A (基礎)	○話す・聞く能力は高い。 ●部分的にしか読めず、全体を関係付けながら読み取ることが難しい。	・新聞プリントなどを活用し、読み取る活動を取り入れる。 ・日常的に作文指導を行い、主語述語に気をつけさせたり、学習した漢字を使わせたりする習慣をつける。
	B (活用)	○基本的な文章の読み取りはできている。 ●複数の条件を取り入れて記述することが難しい。	・粘り強く取り組む習慣をつける。 ・条件を設定した文章を書く経験を積む。
算数	A (基礎)	○基本的な学習事項は理解できている ●数の関係性や条件を読み取らず、思い込みや数だけで処理し誤答している。	・問題を読み取る力をつける。大切な数や言葉のマークや図への表現など可視化をすることで、全体をイメージしたり関係性を読み取ったりする。 ・帯タイムを活用して、小数のかけ算・わり算、グラフの読み取り、割合などの習熟を図る。 ・学習の中で、単元に関係のある活用問題を取り入れる。
	B (活用)	●複数の資料から読み取ることが難しく、答え方・解き方が分からず誤答している。	
理科		○観察・実験の技能は高い。 ●理科の自然事象についての知識・理解がやや低い。(観察・実験が少ないためか)	・国語科と関連付けて情報を整理して読み取る力をつける。 ・観察・実験を通して、筋道を立てて考える学習を重視する。

(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向（破線は全国平均）



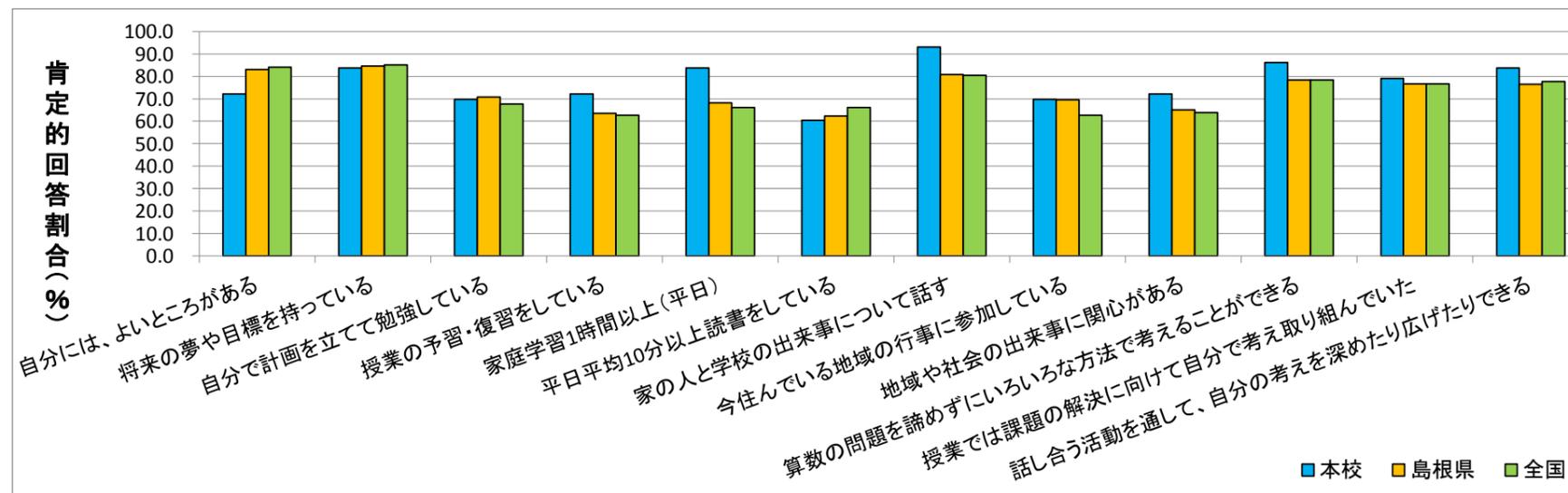
(2) 生活意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○：成果, ●：課題)	対策
		○新聞を見る児童が全国平均よりも多い。 ○家で学校のことを話している児童の割合が高い。 ○家庭学習1時間は定着しつつある。しかし、それ以上の児童は少ない。 ●読書時間、1日2時間以上の割合は多いが、全体として読書時間が少ない。 ●自尊感情が低い。	・日常的に時間がある時は、読書をする習慣をつける。 ・学校行事や学校生活の中で責任のある役割を経験させ達成感を味わわせる。互いのよさを認め合える活動を仕組む。

(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・問題を読み取る力をつける。大切な数や言葉のマークや図への表現など可視化をすることで、全体をイメージしたり関係性を読み取ったりする。  
・学校行事や学校生活の中で責任のある役割を経験させ達成感を味わわせる。  
・互いのよさを認め合える活動を仕組む。

(3) 意識調査（学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています）



【参考】

○平均正答率

		本校	松江市	島根県	全国
国語	A	73	70	68	70.7
	B	60	57	55	54.7
算数	A	70	62	61	63.5
	B	52	50	49	51.5
理科		66	59	58	60.3

受検者数 39人  
※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。